

広報

Tsuchiura Public Relations

[平成27年1月1日発行]

つちうら

1

January
2015
No.1138



新年明けまして、おめでとうございます。

平成27年の初春を市民の皆さまと共に迎えられる慶びをかみしめております。

本年は、人類史上初めて、広島と長崎に原子力爆弾が投下されました第二次世界大戦が終結して70年という大きな節目の年であります。灼熱の南方の地、極寒の北方の地でひたすら肉親を思い、国の安泰を祈りながら犠牲になられた300万柱の御霊に対し、心から哀悼の誠を捧げます。

散華なされた御霊の上、我々の先人たちは、焦土化した中から幾多の困難を乗り越え、世界に冠たる平和と繁栄を築いてこられました。しかし、平成の世も四半世紀が過ぎ、我が国を取り巻く環境も大きく変わってまいりました。少子高齢化、国際化や高度情報化など、大きな荒波が打ち寄せ、戦後に作られたパラダイムが制度疲労を起した現在、新たな時代に合ったパラダイムの構築が急がれております。改革には痛みも伴いますが、未来を担う子供たちのため、しっかりと築いていかねばならない時であります。

このような中、本市におきましても、国内外の大きな変化により、改革が求められております。これまで合併特例債に位置付けました事業のうち、昨年度までの朝日トンネルの完成、新治地区公民館の建替えや小町の館リニューアルオープンに続き、本年は、新たな消防本部庁舎、市営斎場の建設工事などに着手するほか、市役所本庁舎をおよそ50年ぶりに中心市街地へ移転いたします。昨年3月に内閣総理大臣の認定を受けました、土浦市中心市街地活性化基本計画に基づく各施策とともに、都市基盤の整備を着実に進め、土浦城址から霞ヶ浦まで人の流れの創出を図り、元気で活力に満ちた魅力あるまちづくりを進めてまいります。また、昭和62年から要望活動を展開してまいりました、念願の常磐線の東京駅乗り入れが、本年3月から実現の運びとなります。今後乗入れ列車の更なる増加に向け、引き続き要望活動を進めてまいります。

本年も、市を取り巻く社会情勢や財政状況は、大変厳しくなることが見込まれますが、私のまちづくりの基本姿勢であります、「行財政改革」と「市民の皆さまとの協働のまちづくり」という二つの柱をしっかりと堅持しながら、事業の優先順位を見定め、持続可能な「水・みどり・人がきらめく 安心のまち 活力のまち 土浦」の実現に向けた更なる飛躍の年にしたいと考えております。本年が、市民の皆さまにとって、素晴らしい一年でありますことを祈念し、新年の挨拶いたします。

土浦市長 中川 清



二十歳になった皆さんは 土浦をどんなまちにしたい？

11月18日、亀城プラザにおいて、中川市長と今年成人式を迎える本市出身の8人が『住んでみたいと感じる魅力的なまちづくり』をテーマに座談会を行いました。次世代を担う若者の視点で、自由で斬新な意見や提案を、和やかな雰囲気の中にも真剣に市長に説明した様子をご紹介します。

【中川市長】 日本はいま、消費税の問題をはじめ、さまざまな課題をかかえています。そんな中で、土浦市もいまだ変な財政状況で、行財政改革をしっかりとやってかなくては

なりません。もう一つは、まちなかの再生です。お年寄りが増え、人口が減る傾向にある未来を見据え、コンパクトなまちづくりを考え、市役所の移転や、図書館を含めた駅前再開発を予定しています。10年先、20年先を考えていくことが大切で、狭あい化した消防本部や斎場の建替え事業なども行っています。若い人たちが、どういうまちにしたいか、住んでみたい、住んで良かったというまちをつくるため、意見をどんどん出していただいて、取り入れていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

小学校の教員になりたい。

平田達也さん(大学生)



【平田】 市内には高校が多くあるので、モール505を学生自身が自分で考えたお店にする支援をして、オシャレなお店が増えると面白いと思う。近くに茨城大学や筑波大学があるので、大学と連携して研究の成果を発揮できる場所を提供して、先進的な取組を通して土浦市を盛り上げていければいいと思います。

【中川市長】 大学との連携は、すでに筑波大学の先生や生徒さんに、土浦のことを研究してもらって、勉強会の成果を聴く機会も持っています。つくば国際大学とも同じようなことを進めています。

教育者になりたい。

小山田卓実さん(大学生)



特に土浦に在住していない方からの意見や、どのように見えるのかを聞いていきたいですね。

【小山田】 環境資源を活用したいと思います。「りんりんロード」を霞ヶ浦沿いにもつくり、同時に水質浄化を世界に発信したいと考えます。湖をずっと眺めながら何十キロも走れるというのは、魅力的だと思います。

【中川市長】 霞ヶ浦一周と「りんりんロード」を結び、日本で一番長いサイクリングロードが出来るということで、県でも検討され、土浦市でも、研究しているところです。

【松浦】 PRに力を入れるべきではないかと思えます。昨今のゆるキャラブームに乗って、つちまるを市内だけでなく市外、県外にPRしていくことにより、土浦自体の知名度もあがり、土浦市の魅力を知って子供たちの見本になる大人になりたい。松浦誠さん(消防士)



商社マンとして独立したい。

野澤文哉さん(大学生)



もらえると思います。

【中川市長】 土浦は、東京に近く、イベントの集客やロケーションもすばらしい。PRは、ゆるキャラであったりフィルムコミッションでやっていくことが良いのではないかと思います。これからもPRに力を入れていきたいと思っています。





学芸員になりたい。
清水優果さん(大学生)

【清水】 駅周辺に人が集まるようになれば良いと思います。空き店舗のスペースを利用して、小中学生が、自分たちでお店を開き、地元について考え、理解を深めることで、地元の人たちとのつながりもできると思います。

【中川市長】 子供のころから地元に着用を持ってもらえようかなことをするのは良いと思います。これは大事ですね。

【木村】 自分が考えているのは、変革のないchangeです。長所をもっと伸ばす事が大切になってくると思います。レンコンや、学校が多い利点などの長所を絞ってPRすることも、一つの方法だと思います。

【中川市長】 県外などでは、レンコン日本一を知ってる人が少ないだろうと思い、売出すために色々な事をやっています。長所を伸ばしていくことは必要です。



海外の人とビジネスをしたい。
木村公輝さん(大学生)

【野澤】 つくばへの交通機関を充実させ、ベッドタウンとして発達していくのも一つの道ではないかと思えます。コンパクトに、できるだけ一か所に集中させることが私の復活案です。

【山本】 少子高齢化でそもそも人口が減っているのに、転入を増やすために、住んでくれる人が住みやすいと感じていることを、外にアピールするのが良いのではないかと思えます。

【大内】 商店街の飲食店を集めるなどコンパクトなまちづくりができればと思う。土浦はベッドタウン型のまちづく



教育長になりたい。
山本拳也さん(大学生)



茨城の魅力を伝えたい。
大内光広さん(大学生)

りが良いんじゃないかと思う。土浦の魅力を発信するのに、かっこいいプロモーションビデオ(PV)を作って流す。自分からPRしないと分かってもらえないし、外に向けて見せるっていう方法としてPVは面白いと思います。

【中川市長】 少子高齢化時代、まさに人口が減る時代ですから、住んでもらうには、私なりに考えるに、安心・安全のまちづくりではないかと思っています。それは学校や働く場所が近くにあるというのすごく重要なことです。あとは、病院があるということも大事です。当然防犯・防災もですね。やはり、そういったまちがこれから住んで良かったと感じていただけると考えています。

今日は色々なアイデアをいただきました。これからの市政の参考にさせていただきます。皆さんは二十歳です。若い時の特権ですから、大いに外に出て行って活躍し、知識を深め、視野を広げ、色々吸収して、いつかは土浦に戻ってきていただきたい。また、そう思えるまちづくりをしていきたいと思えます。楽しい話を聞かせていただき、ありがとうございました。



新春

文芸

烏山遺跡の玉作資料



土浦市立博物館長
上高津貝塚ふるさと歴史の広場館長
茨城大学名誉教授

茂木雅博

市民の皆さま、あけましておめでとうございます。早いもので私が博物館長を拝命して7回目の新春を迎えました。その間、市民の皆さまには温かく見守っていただき感謝に耐えません。

特に昨年本紙で紹介させていただいた武者塚古墳の出土品が一括して、国の重要文化財に指定されました事を、新年の年頭にあたりご報告させていただきます。県内の遺跡から出土した考古資料が重要文化財に指定されるのは51年ぶりであり、さらに発掘調査によって出土した文物が一括指定されるのは茨城県政始まって以来最初であります。

昨春秋にはそれを記念して、上高津貝塚ふるさと歴史の広場で「武者塚古墳とその時代」と題する特別展を開催し、その期間中に記念学術シンポジウムを行い、大変好評で多くの方々にご足を運んでいただきました。

さて今回は、皆さまにあまり知られていない考古学資料を紹介させていただきます。それは烏山遺跡出土の古代玉作関係資料です。花室川に面する丘陵上には多くの古代遺跡が残されて



といし まいぎり
砥石と舞錐のコマ

おり、昭和47年に茨城県住宅供給公社は烏山団地造成に先立ち、烏山遺跡の事前調査を国土館大学教授大川清先生に委託しました。大川先生は7月、8月という炎天下の中、精密な調査によって200棟を超える古墳時代から奈良・平安時代の住居跡を発見しました。その中には、古墳時代の玉作工房跡や関係資料を出土する住居跡が19棟も含まれており、烏山遺跡が関東地方最大の古代玉作遺跡であることが判明しました。

特に研究史上注目されたのは次の2点であります。

① 操業時期が4世紀中葉から5世紀前半と推定され、それ以降に継続しないこと。

② 『常陸国風土記』に記載された久慈郡玉川産の赤瑪瑙を原料とし勾玉を生産していること。

その後の研究で、この遺跡では材料として瑪瑙の他に碧玉・滑石・粘板岩などが使用され、勾玉のほかに管玉・平玉なども生産され、玉作の未成品や剥片など1000点を超える資料が確認されました。さらに玉作工具として砥石や敲石なども知られ、勾玉の腹部を研磨する内磨砥石は特徴的な形態を有しています。瑪瑙製の勾玉工房としては我が国最古の遺跡です。

さらに市内にはこのほか、おおつ野の八幡脇遺跡、木田余の浅間塚西遺跡からも玉作遺物が発見されています。このことは土浦が古代玉作において中心的な役割を担っていたといえます。

こうした玉作遺跡からは完成品は発見されず、全て未成品と剥片などです。完成品はヤマト政権の元に上納され、全国に配布されたものと想定されます。

しかし、このような玉作技術はこの地に継承されず、6世紀には消滅して全く見られなくなりますが、遠く離れた出雲の玉作技術に散見するようです。

私は密かに、古代土浦の玉作技術が出雲玉作に伝播したのではないかと期待しています。これを正夢にするよう本気で勉強しようと思います。乞うご期待を…。



め の う ま が た ま み せ い ひ ん
瑪瑙の勾玉未成品

調査中の烏山遺跡(昭和47年10月 森 昭氏撮影)

情報ひろば

土浦市役所 ☎826-1111
防災行政無線 ☎0120-826113

マイシティつちうら
まちの話題やニュースをお届けします。土浦ケーブルテレビ デジタル11ch (111ch) 【毎日 9:00/12:00/16:00/20:00の各15分間】

つちうら情報ステーション
市のイベントや事業などの情報をお届けします。茨城放送 (1458kHz) 【毎週木曜日 8:25~8:30】

お知らせ

平成27年消防出初式

- とき・ところ／1月10日(出)
- 観閲：午前8時30分・市民会館駐車場
- 式典：午前9時・市民会館大ホール
- 木遣り歌、梯子乗り：午前10時45分・土浦港北側(プロムナード)
- 分列行進：午前11時10分・川口運動公園周回道路
- 一斉放水：午前11時55分・霞ヶ浦湖畔(川口二丁目土浦港および港町二丁目野積場)
- ※雨天のときは式典のみ開催します。
- ☎消防本部警防救急課(☎821・0119)

みんなで協働のまちづくりシンポジウム

活力のまち土浦へ...多様な主体による地域づくり

- とき／1月24日(出) 午後1時30分~4時(ポスターセッションは午後1時から)
- ところ／市民会館大ホール
- 内容／基調講演「小さく始めて大きく育てる市民参加のまちづくり」(蓮見 孝さん・札幌市立大学学長)、パネルトーク、ポスターセッション
- ☎市民活動課(☎内線2234)

どんど焼き

- しめ縄や松飾りなどの正月用品を燃やし、1年間の無病息災を祈ります。先着200人にお餅を配布します。
- とき／1月17日(出) 午前11時
- 時点火(受け付けは午前9時から。荒天中止)
- ところ／桜川河川敷(学園大橋付近)

NPOセミナー

- とき／①2月12日(休)、②19日(休)、③3月5日(休)、④12日(休) 午後6時30分~8時30分
- ところ／市役所 第2会議室
- 講師／茨城NPOセンター！
- コメンズ職員
- 内容／①地域のために活動しよう、②市民活動団体を設立しよう、③伝える力を高めて協力者を増やそう、④活動資金を生み出す事業計画をつくらう
- 定員／各回30人(先着順)
- 申込方法／住所、氏名、電話番号を記入して郵送、ファクスまたは電話で
- 申込締切／各回2日前
- ☎市民活動課(☎内線2234、☎826・1147)

廃棄物減量等推進審議会委員募集

一般廃棄物の減量や再利用の促進などに関する事項を調査審議するため、ご問題に関心のある方を募集します。

応募資格／20歳以上で市内に居住し、本市のほかの委員に委嘱または任命されていない方

募集人数／2人

任期／2年間

応募方法／所定の応募用紙に、応募の動機、廃棄物減量などに関する意見(800字以内)などを記入し郵送

※応募用紙は市ホームページまたは環境衛生課にあります。

応募期間／1月19日(月)~2月13日(金)

☎環境衛生課(☎内線2492)

保育所非常勤職員募集

募集職種・人員／①保育士：10人程度、②正看護師：3人

任用期間／4月1日~28年3月31日

勤務場所／市内公立保育所

勤務日時／①：週5日・午前7時30分~午後7時(シフト制7.5時間)、②：週5日・午前8時30分~午後5時

市民講演会

- とき／1月17日(出) 午後1時30分~3時30分
- ところ／ホテルマロウド筑波(城北町)
- 講師／太田秀樹さん(医療法人アスム入理事長)
- 内容／元気なうちから知っておきたい在宅医療~人生を支える出前医者24年の実践から
- ☎高齢福祉課(☎内線2500)

霞ヶ浦医療センター公開市民講座

- とき／1月27日(火) 午後3時から
- ところ／地域医療研修センター(霞ヶ浦医療センター内)
- 講師／星野朝文さん(耳鼻咽喉科)
- 内容／漢方についてのお話し
- ☎同医療センター(☎822・5050)



第38回 子ども郷土研究発表会

とき／1月24日(土) 午前10時～11時30分

ところ／上高津貝塚(考古資料館)

※発表会の見学のみは無料。作品は、1月24日(土)から2月15日(日)まで展示します。
 岡上高津貝塚(☎826・7111)

平成27年度 土浦市奨学生募集

応募資格／次の要件をすべて満たす方

●平成27年3月に市立中学校を卒業し、県内の高等学校に進学を予定している方

●経済的理由により修学が困難と認められる方

●引き続き1年以上市内に住所を有している方(扶養義務者またはこれに準ずる方も含む)

●成績良好、品行方正であること

●他の奨学金を受けていないこと

募集人数／16人

給付金額／月額7000円

応募締切／2月6日(金)

※現在通学している中学校長からの推薦が必要になります

ので、担任の先生にご相談ください。

岡教育総務課(☎内線5103)

文化財防火デー 防火訓練

法隆寺金堂壁画が焼損した

1月26日は、文化財防火デーに定められています。市では、文化財保護への関心と防火意識を高めるため、防火訓練を実施します。

とき／1月23日(金) 午前10時から

ところ／亀城公園

内容／昔の消防用具の説明、通報訓練、バケツリレー、水消火器による消火訓練など
 岡文化課(☎内線5120)

県立水戸南高等学校 通信制課程生徒募集

対象者／

①一般入学…中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した方または平成27年3月卒業見込みの方、②編入学…高校などに在籍していたが、現在退学をして、18単位以上を修得している方、③転入学…現在高校などに在籍していて、18単位以上修得する見込みがあり、正当な理由がある方

願書受付期間／①…3月11日(水)～23日(月)、②・③…3月6日(金)～11日(水)
 出願方法／出願書類を窓口へ直接(郵送不可)
 ※詳しくは、お問い合わせください。
 岡水戸南高等学校通信制(☎029・247・4264)

中小企業労働者共済 会融資制度説明会

とき／1月17日(土) 午前10時～午後3時

ところ／中央労働金庫土浦支店(港町一丁目)

対象者／市内に居住する中小企業で働いている方

内容／勤労者対象の融資に関する事、市の利子および保証料補給制度に関すること
 岡商工観光課(☎内線7603)

障がい者就職面接会

とき／2月5日(休) 午後1時～3時30分(受け付けは午後0時30分から)

ところ／ホテルグランド東雲(つくば市小野崎)

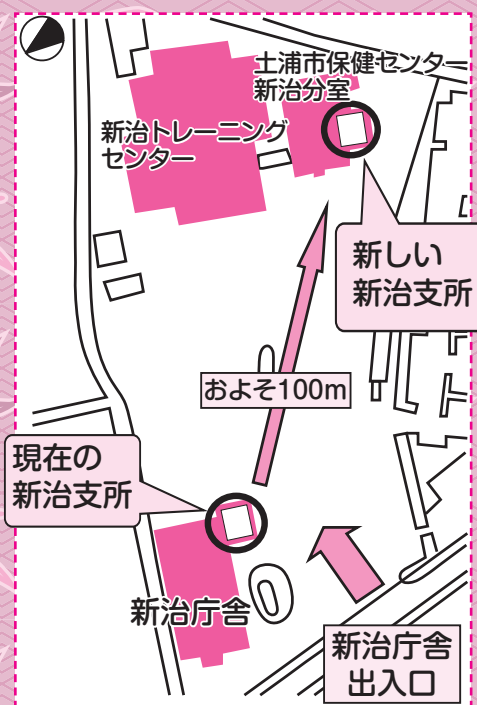
※詳しくは、お問い合わせください。
 岡ハローワーク土浦(☎822・5124)

新治支所移転のお知らせ

平成27年2月2日(月)から、新治支所が同敷地内の「土浦市保健センター新治分室」内に移転します。

引き続き、みなさんのご利用をお待ちしています。

岡 新治支所(☎862-3515)



新春文芸

新春に詠む短歌

何ごとも成さざりしわが一世かと心に沁みて宵のかなかな

荒木富美子

長く生きながら、何一つ成さぬ己れへの思いに聴く、短い生命を力の限り鳴きつくす秋の虫たちの一途なさまに心は沁み透って行った。

しゃぼん玉つぎつぎ放つ管の先ひとつはわれを写して重し

泉沢 浩志

幼い頃のしゃぼん玉遊びが郷愁をさそふ。大小のしゃぼん玉が次々と飛んで行く。自分の写るしゃぼん玉が一つ今も卒寿の心に残る。

朝はやく鳥はさえずり戯れる真綿のようなひかりの中を

井上 秀子

鳥達は朝が早い。私達人間も同じように朝を迎え一日が始まる。穏やかに過ごせますよう災害のない一年であることを願う。

尾根ふたつ謎めく説話抱く山筑波見ゆる地ふるさといわん

宇留野むつみ

筑波山は平安の代から人々と深く関わりつつ超然としている。親しみと厳しさをもつ神秘的な山を日常的に見られることを幸せに思う。

大振りの白梅活ける笠間やき瓶に鎮もる梅花の孤高

金丸 玉貴

土の香りがする様な瓶を陶芸の里笠間で求めてきた。大枝の白梅を活け、一輪二輪と開花するのを待っている。春を先駆け馥郁と香る。

わが街の花火大会も八十年期待の今年は日本晴れなり

菊地 公代

土浦の花火大会は神龍寺の秋元住職が霞ヶ浦航空隊の戦死者を慰めるため始められ今に至る。今年は好天に恵まれ多彩な花火を鑑賞した。

正月の花に活けたる葉牡丹をばらに似てると孫娘言う

酒寄 宏子

毎年正月に葉牡丹を活けています。白と薄紫の葉の重なりが、ばらの花びらのようだと言う小学生の孫娘。穏やかな一時である。

初筑波関八州を見はるかして今年も台風寄せ付けぬぞと

高井 昭

元日に見る筑波山は、関東平野を見下ろしている事を改めて感じた。今年も台風・竜巻など自然災難より見守って下さるよう祈願する。

なでしこの花添えられて市報来る水と緑に人きらめきて

荒井 洋子

回覧板に留めてお隣から市報になでしこが添えられていました。水と緑のみならず、人の優しさもきらめいて。

黎明に霞浦の汀の白鳥はたたみし首をもたげ飛翔す

櫻井 雅江

白鳥は、汀の蘆辺に長い首を後ろに巡らし羽に貌を埋めて休む。初日の出を察知し、首を擡げて飛翔する。千代の春を謳ぐかの様に。

新春に平和を祈る朝清し難病生かされ古稀の喜び

腰山 佑子

今年も又平穏に過ごせますように。我が身も「溶血性貧血」に悩まされつつも、無事に古稀を迎えることが出来て嬉しく思います。

ガラス窓にテールランプの紅き灯のほつと点りて子の戻りたる

佐藤 哲子

日暮暮れて息子もそろそろ戻るであろうと思っていた時、子の車がバックで車庫に入って来た瞬間を歌にしてみました。

母と娘が歳女とふ友よりの賀状の未笑い全開

山口 あさ

期せずして母と娘が歳女と言つ重なるめでたさ。今年も友の家は盤石である。

新年の穂しきあけぼの常なるに心あらため立志を書かん

三浦清次郎

二〇一五年の始まりです。自分でも驚くような抱負を持つてはありませぬか。

朝光をきらめき揺らす桜川寿ぐ春に吉兆のきざし

和氣 明美

あさかげのどかに流れる桜川に桜咲き、面に浮かべる花筏は今年も人々の心を幸にしてくれるでしょう。

闇に点る小さき明りのやさしかり「高田の鉄橋」新駅成りて

平澤 良子

勝田から阿字ヶ浦まで行くローカル鉄道に新駅ができた。むろん無人駅だが明かりがあるだけで、安心感があるものだ。

新春に詠む俳句

元日やまずは神との対話から

「あけましておめでとう」と家族で新しい年を迎えるが、神棚には一番にあいさつ。この年の平和と発展を願う。家族の健康と共に。

一月の真ん中に在す双つ嶺

幼少時より慣れ親しんだ筑波山は心のふるさとである。神々に見守られて新しい年がスタートする。さあ！今年も元気に頑張ろう。

鳶職や空は古式に出初め式

江戸の頃からまじの纏まとが出て、梯子はしご乗りや木遣きぢ節ぶしなど古式ゆかしい行事は、いかにもお正月らしい光景で目を見張る。安全祈願を込めて。

ひとすじの浦の光や初筑波

初日が霞ヶ浦の蓮を染め、一筋の光となり届く。その彼方には初筑波がくつきりと。何とも淑しゆく氣きに満ちた光景。人の心も引き締まる。

携帯にカタカナ並ぶ年賀かな

携帯電話に「ハッピーニューイヤー」の年賀メール。多様化の時代。それでも「絆」の年一回の便りは、生きている元氣の証。目出度し。

初日待つ霞浦に小舟のよぎりおり

御来光を待つ富士見塚古墳頂上。眼下には霞ヶ浦の静寂が広がる。明るんできた東雲の空。一艘の小舟が水尾を引いて行く。絵の様に。

初風の糸の手応へ子に渡す

国民宿舎水郷の跡地。高い樹の枝に、糸の切れた凧が泳いでいる。霞ヶ浦の波は荒い。凧が風に馴染んだところで、凧糸を子に渡す。

朝拜あさうはいの人出迎える駿馬しゅんまかな

新年の言ことば祝いわぎが明るくはすむ中、着飾った駿馬との出逢いは、大和まほろに居る幸せを感じる。平和な日本の年明けである。

加藤 節子

狩谷 諭

小池 陽子

関沢 美江

高田 智子

沼尻 芳子

根本 晴市

古橋 初子

新春に詠む川柳

願い事一つと決めて鈴を振る

年を取ると欲深くなる。賽銭の額にしては、あれもこれもと浮かんできてる。今年は一つ家内安全にする。

注連飾りリースに代えて新世帯

新世帯の初めてのお正月です。ドアの飾りも可愛らしく、ご両親や友人も微笑ましく見守っています。

初日の出霞ヶ浦を輝かせ

霞ヶ浦総合公園から見た初日の出は美しく、やがて湖面全体を明るく照らし、明るい一年を寿ぐかのように感じられました。

だるま市なじみの顔に会い安堵

今年も、同じだるま名産品を買って初詣でに向かいます。笑顔が嬉しい年始めです。

今年こそ何時も叶わぬ願い事

今年こそこう云う一年にしたいと念じながら新春を迎えるが、意志が弱いせいもあり叶わず、今年も同じ願い事をしている自分。

元旦は夫に任せる台所

誰よりも早起きして、御節の用意をする夫。新婚時代からの習慣です。

生きている証しをこめて年賀状

米寿近くになると知友の大半は鬼籍おにせきとなつている。また川柳せうりゅうを作句できるのは有難いこと。残友と残日を楽しみたく賀状を認める。

迎春は家族でかこむ福笑い

ふだんは、あまり寄り付かない孫達もお正月には必ずやってくる。福笑いゲームで家族が笑い合つ至福の一時である。

太田 鳴子

長井まさこ

後藤 建坊

須藤 桜花

富田こうし

山口 笑花

田邊 余市

永井 花菜

土浦の自慢

昔から本質は変わらない 早期幼児教育の重要性

土浦幼稚園は今年、創立130年を迎えます。茨城県で一番古い歴史と伝統をもつ土浦幼稚園は、土浦西小学校(現・土浦小学校)附属幼稚園として明治18年4月15日に西小学校の一室に仮開園し、同年10月17日に開園式を行いました。

創立時はフレーベル教育法を基にした保育が展開され、園児の増加により明治20年に新園舎を増築しました。大正13年、大手町にモンテッソーリの「子どもの家」を模範にした園舎と園庭を新築しましたが、老朽化して昭和55年に建て替えられました。

平成24年4月にいくぶん幼稚園と統廃合し、文京町で再スタートしました。

土浦幼稚園
園長 福田明彦先生



幼稚園には、遊びの中で子供たちが話し合い解決できるようにそとと導く、昔と変わらない教育がありました。先生たちが、遊具や用具を工夫して配置し、子供たちが自由に創造的な発想が遊びの中で生まれるような環境構成を行っていました。

★フレーベル教育法

世界で最初の幼稚園を創設したドイツの教育家フレーベルが、幼児教育法を開発し、子供たちが楽しく遊びながら、表現力や認識力、想像力を自然に学べるようにと20種の教育遊具「恩物」が生まれました。

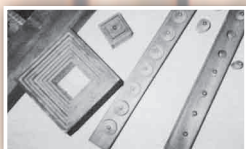
恩物には、シンプルな色と形の構成の中に、計算された学びの設計があり、子供たちが実際に体験し、楽しみながら学習していきました。恩物の歴史は今へとつながり、素材や形を再構成し、現代にも生かされています。



第一恩物 六球



かるた



数の教具

土浦幼稚園 歴史のおはなし

明治9年
(1876年)

日本で最初の幼稚園が東京女子師範学校に開園(現在のお茶の水女子大学附属幼稚園)

明治18年

土浦西小学校(現在の土浦小学校)の附属幼稚園として開園

明治20年

土浦尋常小学校附属幼稚園に改称

昭和2年
(1927年)

アメリカ合衆国から「青い目の人形」が寄贈され、アメリカ人形歓迎会を行う

昭和10年

土浦町立土浦幼稚園として独立改称

昭和15年

土浦市制施行



アメリカ人形歓迎会



全園舎(大正13年3月)



保育風景(昭和3年頃)

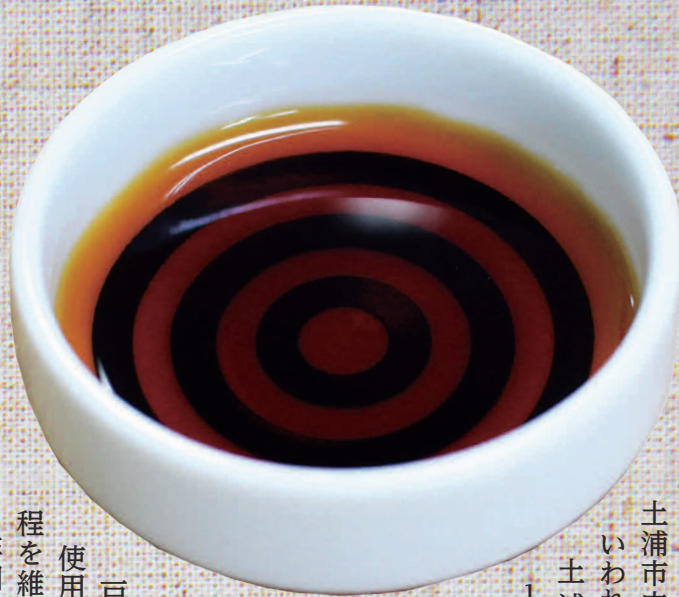


青い目の人形

土浦の自慢

土浦の老舗醤油から

世界の Soy Sauce



千年以上も続く企業が日本には7社あり、最古参の「金剛組(本社:大阪府大阪市)」は、日本のみならず世界で一番長い歴史を持つ建築会社で、創業は西暦578年と飛鳥時代までさかのぼります。

土浦市内にも同様に老舗といわれる企業があります。

土浦で一番古い創業1688年(元禄元年)

から320年余り続

く、日本の食卓を

支える醤油を製造

する柴沼醤油醸造

(株)以下「柴沼醬

油」です。醤油生産

量は茨城県内で第

1位、日本国内で

第30位を誇り、江

戸時代から続く木桶を

使用した伝統的な製造工

程を維持しつつ、ゆっくり

と1年間の歳月をかけ、木桶

や蔵に棲みついた菌と共に醤油の旨味

や香りが熟成・醸造されていきます。

土浦醤油

歴史のおはなし

江戸時代、土浦は醤油の名産地でした。関東では醤油のことを「むらさき」(筑波山の雅号「紫峰」にちなむ)、「おひたち」(常陸)というのは土浦が関東の醤油三大名産地に数えられたためです。

醤油造りの始まりは、元禄年間に大国屋勘兵衛が開業し、当時の土浦藩主土屋政直の産業振興・奨励もあり、土浦の城下町には9軒の醤油屋ができました。9軒は取引・原料・親睦などを円滑にはかるため、醤油屋仲間を結成しました。

亀甲印は、大国屋勘兵衛などの醤油屋も採用していたもので、土浦城主の土屋氏が醤油の生産を奨励したことに由来します。



柴沼醤油の商号は「キッコウ ショウ」(亀甲正)で、土浦城の異称「亀城」にちなんだ亀甲の中に、「商売を正しくしていきいたい」という創業者の精神を表した「正」を入れたものです。

元禄元年(1688年) 柴沼庄左衛門が醸造所を設け、醤油造りを開業

明和6年(1765年) 柴沼土浦醤油仲間に入る(醤油屋仲間証文帳)

大正9年(1920年) 諸味蔵(辰巳蔵)を造る

昭和33年(1958年) 柴沼醤油醸造(株)設立



土浦の醤油の歴史をしっかりと発信していきたい、木桶を使って醸造した醤油のおいしさを伝えていきたいです。その一環として、蔵見学を行っています。市外からも年間約4000人の方に蔵を見学していただき、出来立ての醤油の味わい、土浦の醤油の歴史を一人一人に感じてほしい、伝えていくことが使命と感じています。

また、地元土浦の醤油のおいしさを伝えるべく、市場を世界へ向け、4年前より約20国へ輸出しています。醤油を通じて、海外の人に「茨城」・「土浦」を発信し、海外の人にも興味を持ってほしい、土浦をもう一度元気にする活力にできればとも考えています。発信には醤油だけでなく、地元の米や味噌などにも相互に関係性を持ち、醤油をはじめ茨城・土浦の魅力をこれからも継続的に伝えたいです。



柴沼醤油醸造(株) 第18代 柴沼秀篤 製造本部長



歴史のまち土浦

土浦の自慢

番

最初の国指定文化財の二つ
常陸三古鐘の等覚寺の銅鐘

とうかくじ
大手町にある等覚寺と宍塚町の般若寺にある銅鐘は、潮来市にある長勝寺の銅鐘とあわせて、常陸三古鐘と呼ばれています。

その中で、等覚寺の銅鐘はもと藤沢城(新治郡新治村)内極楽寺のもので、建永元年(1206年)小田城主筑波入道尊念すなわち八田知家が寄進したものです。藤沢城の落城後、土浦城主菅谷氏に預けられ、城内本丸東側の堤の上に移され、以後350年間城中にあったため「集古十種」には、土浦城内の鐘として記録されています。

明治17年、極楽寺にゆかりの深い等覚寺に移され、現在に至り、関東に現存する一番古い銅鐘といわれています。

土浦が全国に誇るイベント

そのイベントにも「歴史あり」

土浦の自慢

かすみがうらマラソン

写真 Photo

歴史 History

第1回大会は、平成3年1月21日、市制施行50周年を記念し、「甦れ、霞ヶ浦 水はスポーツの源」をメインテーマに開催しました。第6回大会から国際盲人マラソンを兼ねて開催、第20回大会からは車いすの部を新設し、日本陸連をはじめ国際陸連や国際パラリンピック委員会にも公認されています。近年のエントリー数は27,000人を超える国内最大級の大会となっています。

日程 4月開催

土浦全国花火競技大会

1925年、文京町にある神龍寺の24代住職・故秋元梅峯師が、霞ヶ浦海軍航空隊と親交が深かったことなどから航空隊殉職者の慰霊と関東大震災後の不況で疲弊した土浦の経済を活性化するという趣旨で、私財を投じ霞ヶ浦湖畔で開催したのが始まりです。現在は、日本三大花火大会の一つに数えられ、土浦は内閣総理大臣杯が授与される権威ある大会です。

10月開催

土浦カレーフェスティバル

1929年、当時世界最大級のドイツの大型飛行船ツェッペリン伯号が世界一周で土浦に飛来した際に、飛行船の乗組員にカレーを振る舞った歴史があります。この歴史や地産地消から、生産量日本一を誇る地元産のレンコンを使用したカレーが楽しめるほか、全国各地からご当地カレーが集まります。ご当地・B級グルメも出店し、今年度は8万人の来場者が訪れた土浦の食の祭典です。

11月開催

発行 土浦市
〒300-8686 土浦市下高津一丁目20番35号
☎029-826-1111
E-mail info@city.tsuchiura.lg.jp
HP <http://www.city.tsuchiura.lg.jp/>

編集 市長公室広報広聴課
人口と世帯数 14万2008人 5万8974世帯
(平成26年12月1日現在)



この広報紙は環境に配慮し、再生紙・植物油インキを使用しています。

スマートフォン用ホームページ▶



次回「広報つちうら」1月中旬号は、1月15日(木)発行予定です。